

浜の活力再生プラン

1 地域水産業再生委員会

組織名	赤須賀地域水産業再生委員会
代表者名	会長 秋田清音

再生委員会の 構 成 員	赤須賀漁業協同組合、桑名市
オブザーバー	三重県津農林水産事務所水産室

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	【対象の範囲】 桑名市赤須賀地域
	【漁業の種類】 小型機船底びき網漁業 103 名

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

赤須賀地域では、木曾三川（揖斐川、長良川及び木曾川）の河口域（三重共第 1、2 共同漁業権内）及び木曾三川の内水面漁場内（揖斐川、長良川及び木曾川のうち三重共第 1 号及び三重共第 2 号共同漁業権区域との境界から上流の水域）において、ハマグリ、ヤマトシジミ等の貝類を対象とした小型機船底びき網漁業（手繰第 3 種漁業（貝けた網））が営まれている。木曾三川の河口域を中心として、高度経済成長期等における埋め立てや水質汚染、地盤沈下等による生息環境の悪化で漁場が激減し、昭和 40 年代に年間 3,000t もあったハマグリの漁獲量は昭和 50 年代以降急激に減少し、平成 7 年には 1t 以下に激減した。これまでに赤須賀漁協では、厳格なハマグリの資源管理、ハマグリの人工種苗生産と稚貝放流、干潟の造成・保全、密漁防止パトロール等の活動に取り組み、近年はハマグリの年間漁獲量が 200t 前後まで増大してハマグリ資源の復活に成功した。

ハマグリの資源が復活したことで漁業者の収入の安定化が図られ、かつては収入問題で跡を継げなかった漁業者の子や孫が赤須賀地域に戻ってきており、平成 17 年以降には新たに 30 名が就業している。今後もこれらの活動を継続することによって、安定したハマグリの漁獲を維持する必要がある。

また、ヤマトシジミは安定した漁獲量を維持し、ハマグリの資源量が激減した時代の赤須賀地域の漁業を支えてきたが、近年、その資源量が激減しており、これまで漁獲対象ではなかったオキシジミに頼らざるを得ない状況となっている。ヤマトシジミの持続的な漁獲を維持するため、三重県及び愛知県内の近隣漁協等と協力した資源管理の取組が必要となっている。

(2) その他の関連する現状等

赤須賀地域の漁場を守るため開発事業等に抵抗したが、大事な漁場が失われた原因の一つは、漁業と地元住民との繋がりや漁場を育む自然環境と地元住民との繋がりが失われたことにより、漁師を応援し、漁師の思いを分かち合える仲間がいなくなったことにある。このような過去の苦い経験から、赤須賀地域の漁業の存続には、地元住民の理解・応援が必要不可欠であると考えられたため、地元住民に対して赤須賀地域で獲れる水産物や漁業に親しむイベントを開催するとともに、地元の学校給食に水産物を提供することで、ハマグリ・ヤマトシジミ等の地産地消を促進する活動に取り組み、失われた地元の仲間との「絆」を復活させる必要がある。また、持続可能なハマグリ漁業を

めざした資源管理の取組が評価され、「2016年ジュニア・サミット in 三重」の視察研修先として赤須賀漁協が選定される等、世界に赤須賀地域の取組を発信していく良い契機となっている。

一方で、赤須賀地域の水産物の知名度は、大消費地の関東あるいは関西圏で低いことが課題となっている。赤須賀地域の漁業の存続・発展には、地元だけでなく、地域の漁業を支える新たな理解者、応援団を増やすことが必要不可欠であるため、付加価値を創造して県外の市場を開拓し、新たな仲間との「絆」を作る必要がある。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

1. 資源管理や漁場保全の取組

1) 漁獲制限の実施

・ハマグリ、ヤマトシジミ、オキシジミの漁獲を持続的に行うため、既存の資源管理に関する公的管理措置（三重県漁業調整規則、桑名漁連の漁業権行使規則）、木曾三川シジミ漁業協議会操業規程、組合独自の自主的資源管理措置（操業日数は週3日、操業時間は一日あたり4時間以内、漁獲量は一日あたり20kg以内（ハマグリ）、140kg以内（ヤマトシジミ）、60kg以内（オキシジミ））を遵守するとともに、新たに三重県及び愛知県内の近隣漁協、県等の関係機関と協力して、木曾三川における夜間操業の禁止等の新たなヤマトシジミの資源管理体制の構築を図る。

2) ハマグリ的人工種苗生産・種苗放流

・ハマグリ資源の維持・増大を図るため、赤須賀漁協ハマグリ種苗生産施設でハマグリ的人工種苗生産を行い、稚貝を木曾三川河口域の長島沖及び城南沖に造成した人工干潟に放流する。

3) 資源及び漁場環境調査

・ハマグリ、ヤマトシジミ等の資源状況を把握するため、木曾三川シジミ漁業協議会、市、県、国土交通省とともに、稚貝の発生・着底調査、干潟の底質調査及び二枚貝類の分布調査を行う。

4) 勉強会等の開催、参加

・資源管理や漁場環境に関する知識を向上させるため、これらに関する勉強会を開催するとともに、北海道網走湖、青森県十三湖、島根県宍道湖及び愛知県六畳潟等のヤマトシジミ・アサリの資源管理に取り組む先進地視察・研修会に参加する。
・木曾三川の下流から河口域におけるヤマトシジミの資源量を回復するため、木曾三川シジミ漁業協議会を通して三重県及び愛知県内の近隣漁協、県等の関係機関と漁獲量の推移、資源管理の取組状況、分布調査・試験びき等の調査結果に関する意見交換会・勉強会を開催し、相互理解を図るとともに新たな資源管理体制の構築に繋げる。

5) 密漁防止パトロールの実施

・ハマグリ資源を維持するため、桑名地区密漁防止対策協議会に参加して密漁防止パトロールを実施し、密漁防止に関する市民等への普及啓発活動を通じて取組への理解者及び応援団を増加させる。

6) 植樹活動の実施

・漁場環境の維持・改善を図るため、漁場上流部の山林で植樹活動を実施する。

7) 漁業経営セーフティネット事業への加入促進

・燃油の高騰に備えるため、漁業経営セーフティネット事業への加入を促進する。

2. 地元住民及び新たな仲間との絆作りに関する取組

1) 赤須賀漁業まつりの開催

・地元漁業や水産物への理解・愛着を深めてもらうため、ハマグリ・ヤマトシジミ等の即売会や漁

業体験等を実施する「赤須賀漁業まつり」を開催する。

2) 学校給食へのヤマトシジミ提供

・食育活動のため、市内の学校給食への冷凍ヤマトシジミの提供、出前授業に取り組む。

3) 体験学習・生産地視察の受け入れ

・漁場や河川環境の素晴らしさを知ってもらうため、地元の小学校や地元料理を提供する企業の従業員を対象とした社会見学、干潟観察会、ハマグリ稚貝放流等を実施する。

・生協やNPO法人等の顧客の視察を受け入れ、試食や漁業体験等を実施することで漁業及び水産物に関する正しい知識を勉強してもらう。

4) イベントへの出展・PR活動

・ハマグリ・ヤマトシジミ等の魚食普及の促進、赤須賀地域の漁業の新たなファンの獲得を目的に、ハマグリ・ヤマトシジミ等の料理の研究・開発に取り組み、県内外のイベントで消費者に対する料理提供やレシピのPRを実施する。

・県外の市場を開拓するため、関東や関西等の大都市圏における流通・市場関係者に対する赤須賀産水産物のPR活動を実施する。

5) 他地区漁業者との交流

・新たな水産物の資源管理法や漁獲法、PR活動等に関する知見を収集するため、県内外の漁業者や漁業者団体との交流を図る。

3. 水産物の付加価値向上・創造の取組

1) ハマグリ付加価値向上

・ハマグリ付加価値を向上するため、新たに「三重ブランド」に認定された「桑名のハマグリ」について、ブランドマークを活用した県内外でのイベント及び飲食店等でのPR活動に取り組む。

2) ヤマトシジミ付加価値向上

・ヤマトシジミ付加価値を向上するため、「三重ブランド」への認定申請に取り組む。

3) その他水産物付加価値創造

・漁家所得向上のため、二枚貝「オキシジミ」の漁獲を開始し、県内外のイベントや飲食店でのキャンペーン及び大都市圏における流通・市場関係者に対するPR活動を行い、販路拡大に取り組む。

4. 漁業コスト削減

1) 定期的な船底清掃等による省燃油活動の推進

・年1回以上の定期的な船底清掃等により省燃油活動を推進する。

2) 減速航行の実施

・減速航行の率先垂範を実施する。

3) 漁船エンジン等の省エネ機器等の導入推進

・漁船エンジンの更新において省エネ機器等の導入を推進する。

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

・三重県漁業調整規則、桑名漁連の漁業権行使規則及び木曾三川シジミ漁業協議会操業規程の資源管理措置により、採捕できる水産動物の殻長の制限、操業者数及び漁具の制限、漁船の馬力数の制限、操業期間及び操業時間、操業区域、操業方法、出漁日数、漁獲量及び出荷サイズの制限が設定されている。

・組合独自の自主的資源管理措置（操業日数は週3日、操業時間は一日あたり4時間以内、漁獲量は一日あたり20kg以内（ハマグリ）、140kg以内（ヤマトシジミ）、60kg以内（オキシジミ）により、漁獲制限を行っている。

・資源管理措置を遵守するため、三重県資源管理指針に従って定められた木曾三川河口海域におけるハマグリ・ヤマトシジミの資源管理計画に基づき、資源計画参加者に対し取組の徹底を指導し、各漁船の取組状況を管理し、その結果を三重県資源管理協議会に報告している。

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成29年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取組により、漁業収入を基準年より2.0%向上させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資源管理や漁場保全の取組 <ol style="list-style-type: none"> 1) 漁獲制限の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ、ヤマトシジミの資源管理に関する公的管理措置を遵守する。 ・木曾三川シジミ漁業協議会に加入し、資源管理に関する規定を遵守する。 ・ハマグリ、ヤマトシジミ、オキシジミの漁獲を持続的に行うための組合独自の取組として、より厳格な漁獲日数及び漁獲量制限を定めて自主規制を行う。 2) ハマグリ的人工種苗生産・種苗放流 <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ資源の維持増大を図るため、ハマグリ的人工種苗生産を行い、稚貝を人工干潟に放流する。 3) 資源及び漁場環境調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマトシジミの資源状況を把握するため、木曾三川シジミ漁業協議会において、ヤマトシジミ漁場を共有する近隣漁協、市、県と協力して1回/年のヤマトシジミの資源調査を行う。 ・ヤマトシジミの稚貝の発生・着底状況や資源状況について把握するため、国土交通省とともに木曾三川で定期的な調査を行う。 ・漁場環境及び水産資源の現状を把握するため、市や県と協力して年2回の干潟の底質調査及び二枚貝類の分布調査を行う。 4) 勉強会等の開催、参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマトシジミの資源管理や漁場環境に関する知識を向上させるため、「シジミ勉強会」を開催するとともに、先進地視察・研修会に参加する。 ・木曾三川の下流から河口域におけるヤマトシジミの新たな資源管理体制を構築するため、木曾三川シジミ漁業協議会を通して三重県及び愛知県内の近隣漁協、県等の関係機関との意見交換会・勉強会を開催し、相互理解を図る。 5) 密漁防止パトロールの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ資源を維持するため、桑名地区密漁防止対策協議会に参加して密漁防止パトロールを実施し、密漁防止に関する市民等への普及啓発活動を通じて取組への理解者及び応援団を増加させる。 6) 植樹活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・漁場環境の維持・改善を図るため、漁場上流部の山林で植樹活動を実施する。 7) 漁業経営セーフティーネット事業への加入促進 <ul style="list-style-type: none"> ・燃油の高騰に備えるため、漁業経営セーフティーネット事業への加入を促進する。 2. 地元住民及び新たな仲間との絆作りに関する取組 <ol style="list-style-type: none"> 1) 赤須賀漁業まつりの開催
---------------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・地元漁業や水産物への理解・愛着を深めてもらうため、「市民とのふれあい」を合言葉に年1回の「赤須賀漁業まつり」を開催し、ハマグリ・ヤマトシジミの活貝即売会や焼きハマグリの販売、漁船での漁業体験（操業見学）等を実施する。 2) 学校給食へのヤマトシジミ提供 <ul style="list-style-type: none"> ・食育活動のため、桑名市内の小学校の学校給食に冷凍ヤマトシジミを提供するとともに出前授業を実施し、故郷の味であるヤマトシジミ汁への愛着を深めるとともに、地元漁業を身近に感じてもらう。 3) 体験学習・生産地視察の受け入れ <ul style="list-style-type: none"> ・漁場や河川環境の素晴らしさを知ってもらうため、地元の小学校や地元料理を提供する企業の従業員を対象とした社会見学、干潟観察会、ハマグリ稚貝放流等を実施する。 ・生協や NPO 法人等の顧客の視察を受け入れ、試食や漁業体験等を実施することで漁業及び水産物に関する正しい知識を勉強してもらう。 4) イベントへの出展・PR 活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ・ヤマトシジミ等の魚食普及の促進、赤須賀地域の漁業の新たなファンの獲得を目的に、ハマグリ・ヤマトシジミ等の料理の研究・開発に取り組み、県内外のイベントで消費者に対する料理提供やレシピの PR を実施する。 ・県外の市場を開拓するため、関東や関西等の大都市圏における流通・市場関係者に対する赤須賀産水産物の PR 活動を実施する。 5) 他地区漁業者との交流 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな水産物の資源管理法や漁獲法、PR 活動等に関する知見を収集するため、県内外の漁業者や漁業者団体との交流を図る。 <p>3. 水産物の付加価値向上・創造の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) ハマグリの付加価値向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリの付加価値を向上するため、新たに「三重ブランド」に認定された「桑名のハマグリ」について、地元 NPO 法人がコミュニティプラザ「はまぐりプラザ」で運営する食堂でブランドマークを使用した PR 活動に取り組む。 2) ヤマトシジミの付加価値向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマトシジミの付加価値を向上するため、「三重ブランド」への認定申請を検討する。 3) その他水産物の付加価値創造 <ul style="list-style-type: none"> ・漁家所得向上のため、二枚貝「オキシジミ」の漁獲について検討する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>以下の取組により、漁業コストを基準年より 0.1%削減させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上の定期的な船底清掃等により省燃油活動を推進する。 ・減速航行の率先垂範を実施する。 ・漁船エンジンの更新において省エネ機器等の導入を推進する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名名産蛤種苗確保育成対策事業補助金（漁業収入向上 1-2）（市） ・水産多面的機能発揮対策事業（漁業収入向上 1-3）（国） ・木曾三川下流部魚介類生息環境調査検討業務（漁業収入向上 1-4）（国） ・漁業経営セーフティーネット構築等事業（漁業収入向上 1-7）（国） ・漁業まつり助成事業補助金（漁業収入向上 2-1）（市）

	<ul style="list-style-type: none"> ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（漁業コスト削減）（国）
--	--

2年目（平成30年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取組により、漁業収入を基準年より4.0%向上させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資源管理や漁場保全の取組 <ol style="list-style-type: none"> 1) 漁獲制限の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ、ヤマトシジミの資源管理に関する公的管理措置を遵守する。 ・木曾三川シジミ漁業協議会に加入し、資源管理に関する規定を遵守する。 ・ハマグリ、ヤマトシジミ、オキシジミの漁獲を持続的に行うための組合独自の取組として、より厳格な漁獲日数及び漁獲量制限を定めて自主規制を行う。 2) ハマグリ的人工種苗生産・種苗放流 <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ資源の維持増大を図るため、ハマグリ的人工種苗生産を行い、稚貝を人工干潟に放流する。 3) 資源及び漁場環境調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマトシジミの資源状況を把握するため、木曾三川シジミ漁業協議会において、ヤマトシジミ漁場を共有する近隣漁協、市、県と協力して1回/年のヤマトシジミの資源調査を行う。 ・ヤマトシジミの稚貝の発生・着底状況や資源状況について把握するため、国土交通省とともに木曾三川で定期的な調査を行う。 ・漁場環境及び水産資源の現状を把握するため、市や県と協力して年2回の干潟の底質調査及び二枚貝類の分布調査を行う。 4) 勉強会等の開催、参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマトシジミの資源管理や漁場環境に関する知識を向上させるため、「シジミ勉強会」を開催するとともに、先進地視察・研修会に参加する。 ・引き続き木曾三川シジミ漁業協議会を通して三重県及び愛知県内の近隣漁協、県等の関係機関との意見交換会・勉強会を開催し、相互理解を図る。 5) 密漁防止パトロールの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ資源を維持するため、桑名地区密漁防止対策協議会に参加して密漁防止パトロールを実施し、密漁防止に関する市民等への普及啓発活動を通じて取組への理解者及び応援団を増加させる。 6) 植樹活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・漁場環境の維持・改善を図るため、漁場上流部の山林で植樹活動を実施する。 7) 漁業経営セーフティーネット事業への加入促進 <ul style="list-style-type: none"> ・燃油の高騰に備えるため、漁業経営セーフティーネット事業への加入を促進する。 2. 地元住民及び新たな仲間との絆作りに関する取組 <ol style="list-style-type: none"> 1) 赤須賀漁業まつりの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・地元漁業や水産物への理解・愛着を深めてもらうため、「市民とのふれあい」
---------------------	--

	<p>を合言葉に年1回の「赤須賀漁業まつり」を開催し、ハマグリ・ヤマトシジミの活貝即売会や焼きハマグリの販売、漁船での漁業体験（操業見学）等を実施する。</p> <p>2) 学校給食へのヤマトシジミ提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育活動のため、桑名市内の小学校の学校給食に冷凍ヤマトシジミを提供するとともに出前授業を実施し、故郷の味であるヤマトシジミ汁への愛着を深めるとともに、地元漁業を身近に感じてもらう。 <p>3) 体験学習・生産地視察の受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁場や河川環境の素晴らしさを知ってもらうため、地元の小学校や地元料理を提供する企業の従業員を対象とした社会見学、干潟観察会、ハマグリ稚貝放流等を実施する。 ・生協やNPO法人等の顧客の視察を受け入れ、試食や漁業体験等を実施することで漁業及び水産物に関する正しい知識を勉強してもらう。 <p>4) イベントへの出展・PR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ・ヤマトシジミ等の魚食普及の促進、赤須賀地域の漁業の新たなファンの獲得を目的に、ハマグリ・ヤマトシジミ等の料理の研究・開発に取り組み、県内外のイベントで消費者に対する料理提供やレシピのPRを実施する。 ・県外の市場を開拓するため、関東や関西等の大都市圏における流通・市場関係者に対する赤須賀産水産物のPR活動を実施する。 <p>5) 他地区漁業者との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな水産物の資源管理法や漁獲法、PR活動等に関する知見を収集するため、県内外の漁業者や漁業者団体との交流を図る。 <p>3. 水産物の付加価値向上・創造の取組</p> <p>1) ハマグリの付加価値向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリの付加価値を向上するため、「三重ブランド」の「桑名のハマグリ」について、地元NPO法人がコミュニティプラザ「はまぐりプラザ」で運営する食堂でブランドマークを使用したPR活動に取り組む。 ・赤須賀漁協が参加する地域交流事業及び市・県が実施する観光PR活動等でブランドマークを使用したPR活動を行う。 <p>2) ヤマトシジミの付加価値向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマトシジミの付加価値を向上するため、「三重ブランド」への認定申請を検討する。 <p>3) その他水産物の付加価値創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁家所得向上のため、二枚貝「オキシジミ」の漁獲を実施する。 ・市場における「オキシジミ」の評判について調査を行い、「オキシジミ」の付加価値向上について検討する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>以下の取組により、漁業コストを基準年より0.3%削減させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上の定期的な船底清掃等により省燃油活動を推進する。 ・減速航行の率先垂範を実施する。 ・漁船エンジンの更新において、省エネ機器等の導入を推進する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名名産蛤種苗確保育成対策事業補助金（漁業収入向上1-2）（市） ・水産多面的機能発揮対策事業（漁業収入向上1-3）（国）

	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾三川下流部魚介類生息環境調査検討業務（漁業収入向上 1-4）（国） ・漁業経営セーフティーネット構築等事業（漁業収入向上 1-7）（国） ・漁業まつり助成事業補助金（漁業収入 2-1）（市） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（漁業コスト削減）（国）
--	--

3年目（平成31年度）

漁業収入向上のための取組	<p>以下の取組により、漁業収入を基準年より 6.1%向上させる。</p> <p>1. 資源管理や漁場保全の取組</p> <p>1) 漁獲制限の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ、ヤマトシジミの資源管理に関する公的管理措置を遵守する。 ・木曾三川シジミ漁業協議会に加入し、資源管理に関する規定を遵守する。 ・ハマグリ、ヤマトシジミ、オキシジミの漁獲を持続的に行うための組合独自の取組として、より厳格な漁獲日数及び漁獲量制限を定めて自主規制を行う。 <p>2) ハマグリ的人工種苗生産・種苗放流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ資源の維持増大を図るため、ハマグリ的人工種苗生産を行い、稚貝を人工干潟に放流する。 <p>3) 資源及び漁場環境調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマトシジミの資源状況を把握するため、木曾三川シジミ漁業協議会において、ヤマトシジミ漁場を共有する近隣漁協、市、県と協力して1回/年のヤマトシジミの資源調査を行う。 ・ヤマトシジミの稚貝の発生・着底状況や資源状況について把握するため、国土交通省とともに木曾三川で定期的な調査を行う。 ・漁場環境及び水産資源の現状を把握するため、市や県と協力して年2回の干潟の底質調査及び二枚貝類の分布調査を行う。 <p>4) 勉強会等の開催、参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマトシジミの資源管理や漁場環境に関する知識を向上させるため、「シジミ勉強会」を開催するとともに、先進地視察・研修会に参加する。 ・引き続き木曾三川シジミ漁業協議会を通して三重県及び愛知県内の近隣漁協、県等の関係機関との意見交換会・勉強会を開催し、相互理解を図る。 <p>5) 密漁防止パトロールの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ資源を維持するため、桑名地区密漁防止対策協議会に参加して密漁防止パトロールを実施し、密漁防止に関する市民等への普及啓発活動を通じて取組への理解者及び応援団を増加させる。 <p>6) 植樹活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁場環境の維持・改善を図るため、漁場上流部の山林で植樹活動を実施する。 <p>7) 漁業経営セーフティーネット事業への加入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃油の高騰に備えるため、漁業経営セーフティーネット事業への加入を促進する。 <p>2. 地元住民及び新たな仲間との絆作りに関する取組</p> <p>1) 赤須賀漁業まつりの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元漁業や水産物への理解・愛着を深めてもらうため、「市民とのふれあい」
--------------	--

	<p>を合言葉に年1回の「赤須賀漁業まつり」を開催し、ハマグリ・ヤマトシジミの活貝即売会や焼きハマグリの販売、漁船での漁業体験（操業見学）等を実施する。</p> <p>2) 学校給食へのヤマトシジミ提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育活動のため、桑名市内の小学校の学校給食に冷凍ヤマトシジミを提供するとともに出前授業を実施し、故郷の味であるヤマトシジミ汁への愛着を深めるとともに、地元漁業を身近に感じてもらう。 <p>3) 体験学習・生産地視察の受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁場や河川環境の素晴らしさを知ってもらうため、地元の小学校や地元料理を提供する企業の従業員を対象とした社会見学、干潟観察会、ハマグリ稚貝放流等を実施する。 ・生協やNPO法人等の顧客の視察を受け入れ、試食や漁業体験等を実施することで漁業及び水産物に関する正しい知識を勉強してもらう。 <p>4) イベントへの出展・PR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティプラザ「はまぐりプラザ」において、赤須賀漁協による持続可能なハマグリ漁業をめざした資源管理等の取組に関する展示会を定期的で開催してPR活動を行う。 ・ハマグリ・ヤマトシジミ等の魚食普及の促進、赤須賀地域の漁業の新たなファンの獲得を目的に、ハマグリ・ヤマトシジミ等の料理の研究・開発に取り組み、県内外のイベントで消費者に対する料理提供やレシピのPRを実施する。 ・県外の市場を開拓するため、関東や関西等の大都市圏における流通・市場関係者に対する赤須賀産水産物のPR活動を実施する。 <p>5) 他地区漁業者との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな水産物の資源管理法や漁獲法、PR活動等に関する知見を収集するため、県内外の漁業者や漁業者団体との交流を図る。 <p>3. 水産物の付加価値向上・創造の取組</p> <p>1) ハマグリの付加価値向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリの付加価値を向上するため、「三重ブランド」の「桑名のハマグリ」について、地元NPO法人がコミュニティプラザ「はまぐりプラザ」で運営する食堂でブランドマークを使用したPR活動に取り組む。 ・赤須賀漁協が参加する地域交流事業及び市・県が実施する観光PR活動等でブランドマークを使用したPR活動を行う。 <p>2) ヤマトシジミの付加価値向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマトシジミの付加価値を向上するため、「三重ブランド」への認定申請を行う。 <p>3) その他水産物の付加価値創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁家所得向上のため、二枚貝「オキシジミ」の漁獲を実施する。 ・市場における「オキシジミ」の評判について調査を行い、「オキシジミ」の付加価値向上について検討する。 ・「オキシジミ」の料理法を研究・開発し、イベントでの提供・販売やPR活動を行う。
漁業コスト削減	以下の取組により、漁業コストを基準年より0.4%削減させる。

のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上の定期的な船底清掃等により省燃油活動を推進する。 ・減速航行の率先垂範を実施する。 ・漁船エンジンの更新において、省エネ機器等の導入を推進する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名名産蛤種苗確保育成対策事業補助金（漁業収入向上1-2）（市） ・水産多面的機能発揮対策事業（漁業収入向上1-3）（国） ・木曾三川下流部魚介類生息環境調査検討業務（漁業収入向上1-4）（国） ・漁業経営セーフティネット構築等事業（漁業収入向上1-7）（国） ・漁業まつり助成事業補助金（漁業収入2-1）（市） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（漁業コスト削減）（国）

4年目（平成32年度）

漁業収入向上のための取組	<p>以下の取組により、漁業収入を基準年より8.1%向上させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資源管理や漁場保全の取組 <ol style="list-style-type: none"> 1) 漁獲制限の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ、ヤマトシジミの資源管理に関する公的管理措置を遵守する。 ・木曾三川シジミ漁業協議会に加入し、資源管理に関する規定を遵守する。 ・ハマグリ、ヤマトシジミ、オキシジミの漁獲を持続的に行うための組合独自の取組として、より厳格な漁獲日数及び漁獲量制限を定めて自主規制を行う。 ・新たに三重県及び愛知県内の近隣漁協、県等の関係機関と協力して木曾三川の下流から河口域におけるヤマトシジミの資源管理体制を構築し、資源回復を図る。 2) ハマグリ的人工種苗生産・種苗放流 <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ資源の維持増大を図るため、ハマグリ的人工種苗生産を行い、稚貝を人工干潟に放流する。 3) 資源及び漁場環境調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマトシジミの資源状況を把握するため、木曾三川シジミ漁業協議会において、ヤマトシジミ漁場を共有する近隣漁協、市、県と協力して1回/年のヤマトシジミの資源調査を行う。 ・ヤマトシジミの稚貝の発生・着底状況や資源状況について把握するため、国土交通省とともに木曾三川で定期的な調査を行う。 ・漁場環境及び水産資源の現状を把握するため、市や県と協力して年2回の干潟の底質調査及び二枚貝類の分布調査を行う。 4) 勉強会等の開催、参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマトシジミの資源管理や漁場環境に関する知識を向上させるため、「シジミ勉強会」を開催するとともに、先進地視察・研修会に参加する。 ・引き続き木曾三川シジミ漁業協議会を通して三重県及び愛知県内の近隣漁協、県等の関係機関との意見交換会・勉強会を開催し、相互理解を図る。 5) 密漁防止パトロールの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ資源を維持するため、桑名地区密漁防止対策協議会に参加して密漁防止パトロールを実施し、密漁防止に関する市民等への普及啓発活動を通じて取組への理解者及び応援団を増加させる。 6) 植樹活動の実施
--------------	--

- ・漁場環境の維持・改善を図るため、漁場上流部の山林で植樹活動を実施する。
- 7) 漁業経営セーフティーネット事業への加入促進
- ・燃油の高騰に備えるため、漁業経営セーフティーネット事業への加入を促進する。

2. 地元住民及び新たな仲間との絆作りに関する取組

1) 赤須賀漁業まつりの開催

- ・地元漁業や水産物への理解・愛着を深めてもらうため、「市民とのふれあい」を合言葉に年1回の「赤須賀漁業まつり」を開催し、ハマグリ・ヤマトシジミの活貝即売会や焼きハマグリの販売、漁船での漁業体験（操業見学）等を実施する。

2) 学校給食へのヤマトシジミ提供

- ・食育活動のため、桑名市内の小学校の学校給食に冷凍ヤマトシジミを提供するとともに出前授業を実施し、故郷の味であるヤマトシジミ汁への愛着を深めるとともに、地元漁業を身近に感じてもらう。

3) 体験学習・生産地視察の受け入れ

- ・漁場や河川環境の素晴らしさを知ってもらうため、地元の小学校や地元料理を提供する企業の従業員を対象とした社会見学、干潟観察会、ハマグリ稚貝放流等を実施する。
- ・生協やNPO法人等の顧客の視察を受け入れ、試食や漁業体験等を実施することで漁業及び水産物に関する正しい知識を勉強してもらう。

4) イベントへの出展・PR活動

- ・コミュニティプラザ「はまぐりプラザ」において、赤須賀漁協による持続可能なハマグリ漁業をめざした資源管理等の取組に関する展示会を定期的で開催してPR活動を行う。
- ・ハマグリ・ヤマトシジミ等の魚食普及の促進、赤須賀地域の漁業の新たなファンの獲得を目的に、ハマグリ・ヤマトシジミ等の料理の研究・開発に取り組み、県内外のイベントで消費者に対する料理提供やレシピのPRを実施する。
- ・県外の市場を開拓するため、関東や関西等の大都市圏における流通・市場関係者に対する赤須賀産水産物のPR活動を実施する。

5) 他地区漁業者との交流

- ・新たな水産物の資源管理法や漁獲法、PR活動等に関する知見を収集するため、県内外の漁業者や漁業者団体との交流を図る。

3. 水産物の付加価値向上・創造の取組

1) ハマグリの付加価値向上

- ・ハマグリの付加価値を向上するため、「三重ブランド」の「桑名のハマグリ」について、地元NPO法人がコミュニティプラザ「はまぐりプラザ」で運営する食堂でブランドマークを使用したPR活動に取り組む。
- ・赤須賀漁協が参加する地域交流事業及び市・県が実施する観光PR活動等でブランドマークを使用したPR活動を行う。
- ・ハマグリのトレーサビリティの保証制度を確立し、赤須賀漁協から仲買人（水産業者、佃煮業者等）に落札されたハマグリに対するブランドマークの使用に

	<p>ついて許可を行い、マークを使用した全国的な PR 活動に取り組む。</p> <p>2) ヤマトシジミの付加価値向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「三重ブランド」に認定された「ヤマトシジミ」について、地域交流事業及び市・県が実施する観光 PR 活動等でブランドマークを使用した PR 活動を行う。 <p>3) その他水産物の付加価値創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁家所得向上のため、二枚貝「オキシジミ」の漁獲を実施する。 ・市場における「オキシジミ」の評判について調査を行い、「オキシジミ」の付加価値向上について検討する。 ・「オキシジミ」の料理法を研究・開発し、イベントでの提供・販売や PR 活動を行う。
漁業コスト削減のための取組	<p>以下の取組により、漁業コストを基準年より 0.6%削減させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年 1 回以上の定期的な船底清掃等により省燃油活動を推進する。 ・減速航行の率先垂範を実施する。 ・漁船エンジンの更新において、省エネ機器等の導入を推進する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名名産蛤種苗確保育成対策事業補助金（漁業収入向上 1-2）（市） ・水産多面的機能発揮対策事業（漁業収入向上 1-3）（国） ・木曾三川下流部魚介類生息環境調査検討業務（漁業収入向上 1-4）（国） ・漁業経営セーフティーネット構築等事業（漁業収入向上 1-7）（国） ・漁業まつり助成事業補助金（漁業収入 2-1）（市） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（漁業コスト削減）（国）

5 年目（平成 33 年度）

漁業収入向上のための取組	<p>以下の取組により、漁業収入を基準年より 10.1%向上させる。</p> <p>1. 資源管理や漁場保全の取組</p> <p>1) 漁獲制限の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ、ヤマトシジミの資源管理に関する公的管理措置を遵守する。 ・木曾三川シジミ漁業協議会に加入し、資源管理に関する規定を遵守する。 ・ハマグリ、ヤマトシジミ、オキシジミの漁獲を持続的に行うための組合独自の取組として、より厳格な漁獲日数及び漁獲量制限を定めて自主規制を行う。 ・新たに三重県及び愛知県内の近隣漁協、県等の関係機関と協力して木曾三川の下流から河口域におけるヤマトシジミの資源管理体制を構築し、資源回復を図る。 <p>2) ハマグリ的人工種苗生産・種苗放流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ資源の維持増大を図るため、ハマグリ的人工種苗生産を行い、稚貝を人工干潟に放流する。 <p>3) 資源及び漁場環境調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマトシジミの資源状況を把握するため、木曾三川シジミ漁業協議会において、ヤマトシジミ漁場を共有する近隣漁協、市、県と協力して 1 回/年のヤマトシジミの資源調査を行う。 ・ヤマトシジミの稚貝の発生・着底状況や資源状況について把握するため、国土交通省とともに木曾三川で定期的な調査を行う。 ・漁場環境及び水産資源の現状を把握するため、市や県と協力して年 2 回の干潟の底質調査及び二枚貝類の分布調査を行う。
--------------	---

4) 勉強会等の開催、参加

- ・ヤマトシジミの資源管理や漁場環境に関する知識を向上させるため、「シジミ勉強会」を開催するとともに、先進地視察・研修会に参加する。
- ・引き続き木曾三川シジミ漁業協議会を通して三重県及び愛知県内の近隣漁協、県等の関係機関との意見交換会・勉強会を開催し、相互理解を図る。

5) 密漁防止パトロールの実施

- ・ハマグリ資源を維持するため、桑名地区密漁防止対策協議会に参加して密漁防止パトロールを実施し、密漁防止に関する市民等への普及啓発活動を通じて取組への理解者及び応援団を増加させる。

6) 植樹活動の実施

- ・漁場環境の維持・改善を図るため、漁場上流部の山林で植樹活動を実施する。

7) 漁業経営セーフティーネット事業への加入促進

- ・燃油の高騰に備えるため、漁業経営セーフティーネット事業への加入を促進する。

2. 地元住民及び新たな仲間との絆作りに関する取組

1) 赤須賀漁業まつりの開催

- ・地元漁業や水産物への理解・愛着を深めてもらうため、「市民とのふれあい」を合言葉に年1回の「赤須賀漁業まつり」を開催し、ハマグリ・ヤマトシジミの活貝即売会や焼きハマグリの販売、漁船での漁業体験（操業見学）等を実施する。

2) 学校給食へのヤマトシジミ提供

- ・食育活動のため、桑名市内の小学校の学校給食に冷凍ヤマトシジミを提供するとともに出前授業を実施し、故郷の味であるヤマトシジミ汁への愛着を深めるとともに、地元漁業を身近に感じてもらう。

3) 体験学習・生産地視察の受け入れ

- ・漁場や河川環境の素晴らしさを知ってもらうため、地元の小学校や地元料理を提供する企業の従業員を対象とした社会見学、干潟観察会、ハマグリ稚貝放流等を実施する。
- ・生協やNPO法人等の顧客の視察を受け入れ、試食や漁業体験等を実施することで漁業及び水産物に関する正しい知識を勉強してもらう。

4) イベントへの出展・PR活動

- ・コミュニティプラザ「はまぐりプラザ」において、赤須賀漁協による持続可能なハマグリ漁業をめざした資源管理等の取組に関する展示会を定期的で開催してPR活動を行う。
- ・ハマグリ・ヤマトシジミ等の魚食普及の促進、赤須賀地域の漁業の新たなファンの獲得を目的に、ハマグリ・ヤマトシジミ等の料理の研究・開発に取り組み、県内外のイベントで消費者に対する料理提供やレシピのPRを実施する。
- ・県外の市場を開拓するため、関東や関西等の大都市圏における流通・市場関係者に対する赤須賀産水産物のPR活動を実施する。

5) 他地区漁業者との交流

- ・新たな水産物の資源管理法や漁獲法、PR活動等に関する知見を収集するため、

	<p>県内外の漁業者や漁業者団体との交流を図る。</p> <p>3. 水産物の付加価値向上・創造の取組</p> <p>1) ハマグリの付加価値向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリの付加価値を向上するため、新たに「三重ブランド」に認定された「桑名のハマグリ」について、地元 NPO 法人がコミュニティプラザ「はまぐりプラザ」で運営する食堂でブランドマークを使用した PR 活動に取り組む。 ・赤須賀漁協が参加する地域交流事業及び市・県が実施する観光 PR 活動等でブランドマークを使用した PR 活動を行う。 ・ハマグリのトレーサビリティの保証制度を確立し、赤須賀漁協から仲買人（水産業者、佃煮業者等）に落札されたハマグリに対するブランドマークの使用について許可を行い、マークを使用した全国的な PR 活動に取り組む。 <p>2) ヤマトシジミの付加価値向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「三重ブランド」に認定された「ヤマトシジミ」について、地域交流事業及び市・県が実施する観光 PR 活動等でブランドマークを使用した PR 活動を行う。 <p>3) その他水産物の付加価値創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁家所得向上のため、二枚貝「オキシジミ」の漁獲を実施する。 ・市場における「オキシジミ」の評判について調査を行い、「オキシジミ」の付加価値向上に取り組む。 ・「オキシジミ」の料理法を研究・開発し、イベントでの提供・販売や PR 活動を行う。
漁業コスト削減のための取組	<p>以下の取組により、漁業コストを基準年より 0.7%削減させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年 1 回以上の定期的な船底清掃等により省燃油活動を推進する。 ・減速航行の率先垂範を実施する。 ・漁船エンジンの更新において、省エネ機器等の導入を推進する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名名産蛤種苗確保育成対策事業補助金（漁業収入向上 1-2）（市） ・水産多面的機能発揮対策事業（漁業収入向上 1-3）（国） ・木曾三川下流部魚介類生息環境調査検討業務（漁業収入向上 1-4）（国） ・漁業経営セーフティネット構築等事業（漁業収入向上 1-7）（国） ・漁業まつり助成事業補助金（漁業収入 2-1）（市） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（漁業コスト削減）（国）

（4）関係機関との連携

これらの計画内容が十分発揮されるよう、桑名市、県（県庁、津農林水産事務所、水産研究所等）、国土交通省、桑名漁業協同組合連合会、三重県漁業協同組合連合会と情報共有しながら、連携して取り組んで行く。

4 目標

（1）数値目標

漁業所得の向上 以上	%	基準年	平成	年度：漁業所得	千円
		目標年	平成	年度：漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
桑名名産蛤種苗確保育成対策事業補助金（桑名市一般会計予算）	放流用ハマグリ的人工種苗生産。
水産多面的機能発揮対策事業（水産庁水産多面的機能発揮対策交付金）	ハマグリの子貝放流、植樹活動、浮遊・堆積物の除去、モニタリング活動（2回/年）による干潟等の保全活動、小中学校の社会見学の受け入れ・出前授業による普及啓発活動。
木曾三川下流部魚介類生息環境調査検討業務（国土交通省）	木曾三川におけるヤマトシジミの資源状況調査の実施及び国土交通省木曾川下流河川事務所、桑名市、三重県等の関係機関によるシジミ勉強会の開催。
漁業経営セーフティネット構築等事業（水産庁漁業経営セーフティネット構築事業）	燃油高騰による漁業経営の圧迫・悪化の緩和。
漁業まつり助成事業補助金（桑名市一般会計予算）	地元水産物の地産・地消の促進、PR活動を目的とした赤須賀漁業まつりの開催（1回/年）。
競争力強化型機器等導入緊急対策事業（水産庁水産業競争力強化緊急事業）	省エネ機器等の導入推進による漁業コストの削減。